

整理番号 05020103

事務事業名	企業立地支援事業		事業期間	2018	～	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部	商工課	工業・産業振興係			連絡先	432	

事後評価（CHECK）	項目		2018年度（H30）	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果要因分析）	変果動指要標	30年度は新設した労務環境等改善補助金の申請件数が13件あり、企業の設備投資へのマインドを高めた。大規模の設備投資は、中国経済の減速から把握は困難。	創設2年目の労務環境等改善補助金の申請件数は、26件で前年の申請件数の2倍となった。中小企業振興補助金の申請件数は6件で昨年を下回ったが、2補助金の設備投資総額は昨年を1億8千万上回った。2020年申請額は大幅増加が見込まれる。			
		成果	国の働き方改革を踏まえた労務環境型設備投資が増えた。丸山工業団地の2区画の土地売買が完了し、工業団地の維持管理は計画的な管理を行った。	設備投資系の2種類の補助金の利用件数が伸び、補助金申請初めての企業数が増加した。丸山工業団地では1件が操業した。			
		課題	企業立地相談や空き工場の問い合わせがあるものの、物件不足等により商機を逃している。工業団地は、造成から30年を超え、調整池や管理地の樹木管理等経費が高む傾向にある。	企業立地相談や空き工場の問い合わせがあるものの、物件不足等により商機を逃している。工業団地は、造成から30年を超え、樹木管理経費が高む傾向にある。工業用地周辺での太陽光発電の増加が懸念される。			
改革・改善の方向性（ACT）	翌々年度方向性	成果	拡充	拡充			
		コスト	現状維持	拡大			
策 び 容	改 良 方 向 性 <td>改 良 方 向 性</td> <td>労務環境等償却資産向けの補助制度の新設が好評で今後も企業の投資マインドを後方支援する制度設計を心がけていく。ただし、大規模設備投資を補完する中小企業振興補助金との総体的な予算枠の確保は必要である。また、台風24号による倒木被害等、企業活動に支障を来さないための工業団地内の計画的な管理が必要である。</td> <td>労務環境等償却資産向けの補助制度が好評であり、コロナ禍で企業の設備投資が慎重になるなか、設備投資マインドが上向く制度PRに努めていく。2020年、2021年は企業の大型設備投資による中小企業振興補助金は増加傾向にあるので、予算措置を講じる。森林税を活用したライフライン事業を工業団地に取り入れ、災害に強い工業団地整備に力を入れていく。</td> <td></td> <td></td> <td></td>	改 良 方 向 性	労務環境等償却資産向けの補助制度の新設が好評で今後も企業の投資マインドを後方支援する制度設計を心がけていく。ただし、大規模設備投資を補完する中小企業振興補助金との総体的な予算枠の確保は必要である。また、台風24号による倒木被害等、企業活動に支障を来さないための工業団地内の計画的な管理が必要である。	労務環境等償却資産向けの補助制度が好評であり、コロナ禍で企業の設備投資が慎重になるなか、設備投資マインドが上向く制度PRに努めていく。2020年、2021年は企業の大型設備投資による中小企業振興補助金は増加傾向にあるので、予算措置を講じる。森林税を活用したライフライン事業を工業団地に取り入れ、災害に強い工業団地整備に力を入れていく。			
		策 び 容					

作成担当者	大蔵健司	大蔵健司			
最終評価責任者	上田佳秋	牛山重喜			
最終評価年月日	令和元年5月17日				